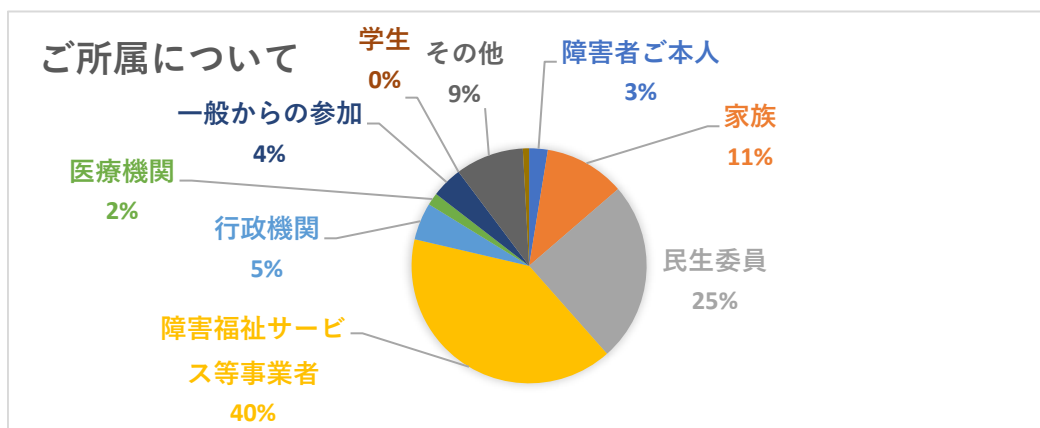


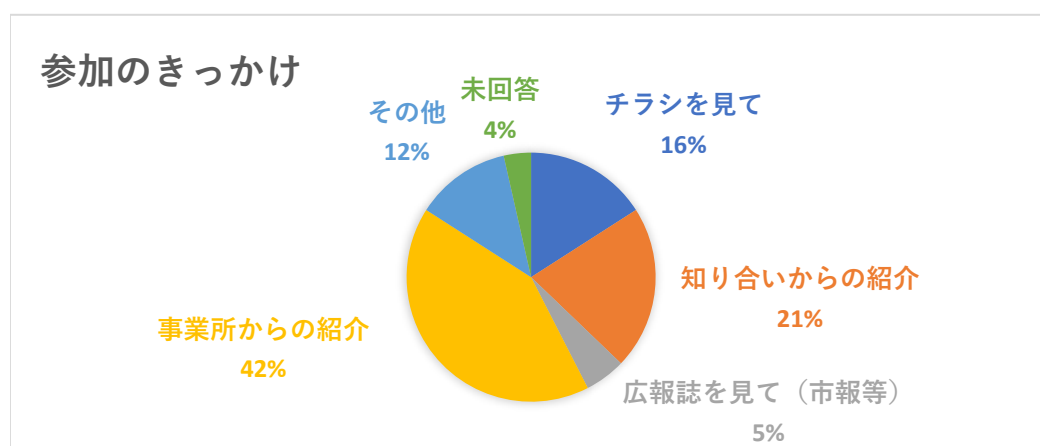
●ご所属について

- 障害者ご本人
- 家族
- 民生委員
- 障害福祉サービス等事業者
- 行政機関
- 医療機関
- 一般からの参加
- 学生
- その他（社協、包括支援センター、高齢者 GH）



●研修参加のきっかけ

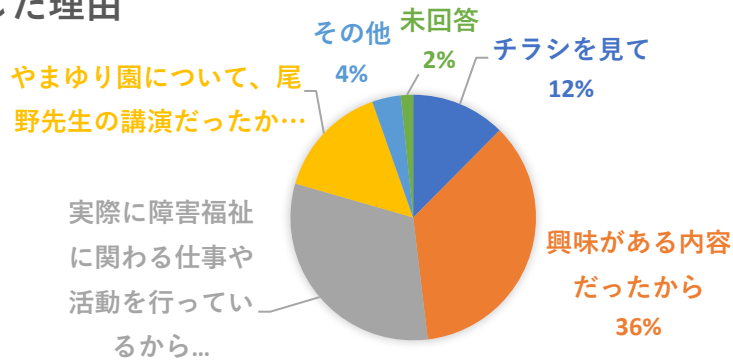
- チラシを見て
- 知り合いからの紹介
- 広報誌を見て（市報等）
- 事業所からの紹介
- その他（障害者差別解消支援会議、佐賀新聞、民生委員）



●研修参加の理由(複数回答可)

チラシを見て 興味がある内容だったから 実際に障害福祉に関わる仕事や活動を行っているから やまゆり園について、尾野先生の講演だったから その他(重度訪問介護の制度活用を検討している。自分自身が入所支援に長く勤めてきて疑問を持ち葛藤があったから。)

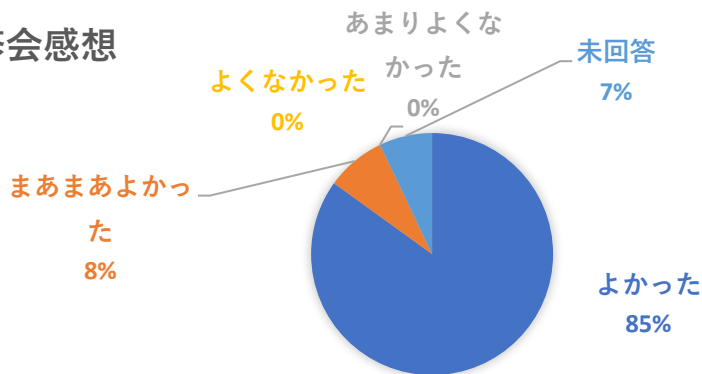
参加した理由



●研修会に参加しての感想

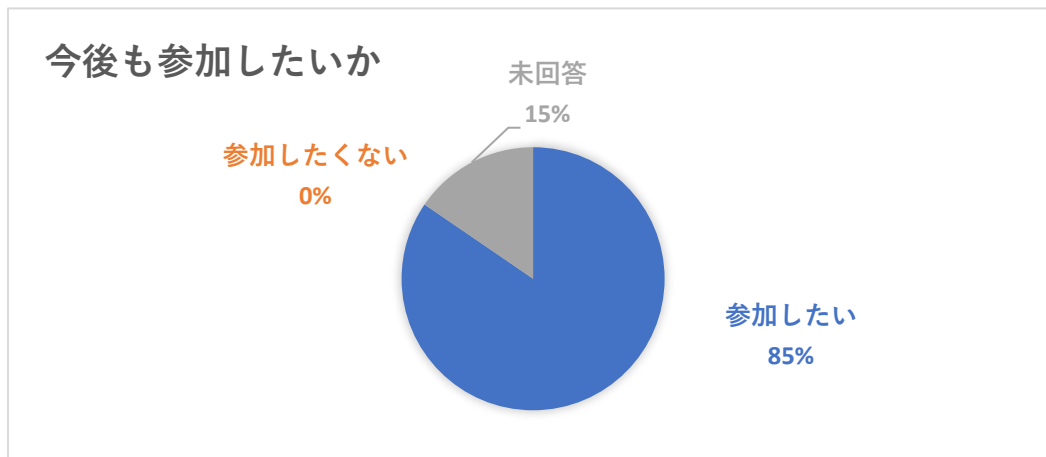
よかった まあまあよかった あまりよくなかった よくなかった

研修会感想



●今後このような研修があれば参加したいか

参加したい 参加したくない



●本日の研修の感想、ご質問等があればご記入ください。

★障害福祉サービス事業者職員や関係職員としての感想

泣くのをこらえるのに必死でした。私は約 20 年入所施設で支援員をしてきました。今は相談支援ですが、支援員の時に事件がありました。その時「私達はいらぬ人なの?」と聞かれて「違う!」「犯人がおかしい!」と立腹したのを思い出しました。ずっと違和を感じた自分が今から何が出来るのか考えています。このような時間を過ごすことが出来たことに感謝です。

お父様や大坪さんの講話を聴き、障害福祉サービス事業所を運営する支援者として心が震えました。自分には利用者さんの為に何が出来るだろう?何をすべきなのかを考えながら聞いてました。まだまだ、発信力や行動力が足りない実感しました。今日の研修会を通して日々の生活や業務をブラッシュアップしてより良い地域資源として努力が必要と感じました。

尾野さんが話された施設の現状。何一つ自分で決めることも出来ず、支援者にとっても喜びを感じられない。その中で起きた事件…。重度訪問介護制度を利用することで私達(健常者とされる者)が行っている当たり前の暮らしを障害があっても出来るのであれば、当事者家族が声を上げていくこと、それを後押ししてくれる周りがいてくれることが制度を変え、制度を作ってきたと思います。行政が開催するこうした学習会の今後の展開に期待したいです。

「将来は入所」という考えを持ったご家族は多いのかなと思います。「親亡き後どうするのか?」という話の中で入所しないのかなと思う親の気持ちと、本人の意思は違うところがあるのが現実だと思います。本人さんの意思決定をどのように話し合うのか、また聞いていくのが今後の課題になるのだと思います。

貴重な講演をありがとうございました。生活の中での意思決定にしても、大きな変更を決めるにしても意思決定に関するご本人の選択を大切にしたいと思いました。そのためには経験が重要。選択するための材料を提案していけるように自分の視野を広げたいと思いました。

障害がある方と地域で共に暮らす、一人ひとりの障害がある方に対する思い、自分で出来ることから考えていき

たいです。
本日はありがとうございました。佐賀県の北部から来ました。同じ県内でも福祉に対する考え、企画、その他にも差があるように思えます。このような研修が北部でもできたらなと思いました。まずは施設内の職員の考え方から少しずつ変えていけたらなと思います。
障害の方の自立支援についてとても勉強になりました。講師の方の話を聞き涙してしまいました。地域全体で動かなければならないと強く思いました。
やまゆり園の事件について振り返り、当事者である方の話が聞けたことは大変貴重でありました。大坪さんの考え方、ご家族の思いをうかがい、今後の地域での生活について(重度の知的の方の)ご本人にしっかりと向き合い、意思決定を大切にしていきたいと思いました。
★一矢さんについて
一矢さん自身、事件を思い出したくないと思ったでしょうが、様々な社会資源を活用し、本人の思いを尊重して過ごされている印象を受け嬉しく思いました。
人間力の大切さを感じました。一矢さんの人生そのものが光になるなと思います。応援したいし、自分が出来ることを見つけていけたらと思いました。
★尾野先生、大坪さんについて
第一部の大坪さんの言葉が胸に刺さりました。自分自身が支援者として枠の中で支援することにとらわれがちだと思いました。施設から地域への選択をされた尾野さんを尊敬します。制度、人材確保、育成、課題は沢山ありますが社会全体の意識が変わるよう、出来ることに取り組んでいきたいと思います。
★重度訪問介護の制度について
重度訪問介護制度。聞いたことがあるような気がするくらいでしたが、とても大切な制度と知りました。一矢さんに続き全国でこの制度を広める取り組みを幅広く進めていかないと強く思いました。また同時になかなか進まない制度でもある事が分かりました。私の身の回りの人にも話していきたいと思います。
★研修会全体、進行などについて
トークセッションの司会、進行が素晴らしかったと思います。
アパートで独り暮らしをされる中で近隣住民さんとの関係づくり、理解や協力等をどのように得られてきたのか知りたかったです。地域で生活するためには住民の理解がとても必要だと思います。
★地域生活について
施設や地域生活の根本から考えました。
施設を出て、地域で暮らす自立した人の話、またその保護者目線の話が聞けてこれからの地域移行について考えることができたと思います。

●今後研修会を開催する場合にはどのような内容の研修会がよいですか。

地域での取り組み。事例等
虐待について。
親の気持ち。受け入れ方。
虐待防止や身体拘束について。(圏域内での実際の事例等)
各種ハラスメントについて。
障害福祉サービスとインボイス制度。
今回のように異なった立場の方々とのセッションは良いと思います。施設には施設の長所もあると思うので、相手の立場を否定しないようなセッションを望みます。
講演会形式でよいと思います。
どこにもつながっていない困った事情を持った人たちへの関わりとアプローチについて。
精神障害を持っている方々の地域での暮らしを知りたいです。
生活介護事業者様、訪問看護事業者様等の講演会はぜひ参加させて頂けたらと思います。
障害者と地域のかかわり。
重度障害の方の色々な生活、地域共生について。(他 2 件)
親亡き後の生活について。
多くの方が障害者に対する理解をしていただく機会があったらいいなと思います。
障害福祉に関わる様々な方のトークセッションがあったらと思いました。
重度知的障害の人たちの意思決定支援。親が高齢である程、パターンリズムの考えは強く支援者も本人より親の思いを聞くことが多くなるため。

●地域で生活する中で障害者に対する差別、権利侵害等、気になる状況や困ったことについて。

差別、権利侵害は鳥栖・三養基地区では幸いありません。(他1件)
地域で暮らす中で障害のある方々とお会いする機会があまりないと感じている。イベント的な交流会などではその機会がありますがなぜでしょうか。障害のある方々が施設や自宅などで出て自由な活動が出来るような社会でありたいと考えます。
障害者に対する理解が地域で進んでいるのでしょうか?もっともっと身近に当たり前のように共に生きるまちづくりが必要だと感じます。「他人ごとではない、私だったら…。私の家族だったら…。」と日常生活で意識することがいいのかなあと思いました。
障害者の地域生活を包容する社会(地域)になっているのか。障害者で地域生活をしている方が多くない。また障害者の地域生活について市民の関心も低いと思われるので、関心が高まる取り組みが必要だと思う。
サポートする場やサポートする人が不足していると思います。
障害者の就労についても賃金が上がればいいと思う。
この地域で一人の人が施設から地域へと変わった時、重度障害者はすぐに出せるのか?受けられる事業所がない、人が足りないとならないか。そのあたりの現実的なところどんなものなのかとったりしました。
どうもありがどうございました。私も何か出来ることをやろうと思いました。
どこの事業所もマンパワー不足で必要なサービスが受けられず、権利が守られていないと感じることがある。
福岡市に住まいを置き福岡市内のグループホームに勤務をさせて頂きながら副業にて鳥栖市の飲食店に勤務をさせて頂いているのがご縁で今回参加させていただきました。性的少数該当者です。福岡と比べると副業従事しながら差別が多いと感じることがあります。当事者本人として力強く生きていこうと思います。
近隣地域ですが、重い障害があり問題行動があれば薬、病院、入所。公的機関や支援者側が進めている状況があります。本人の意思が尊重されていないと感じます。会議前に支援者に対して事前に(入院、入所の)方向性の確認があり反対しないよう示し合わせるようなことがあります。本人の情報共有もされないまま入所、入院の道筋がたてられている状況が沢山あります。
家族が声を上げるまでのハードルがまだまだ高いと思います。
どこの施設(GH)からも受け入れを断られてしまう利用者さんもいます。その方は病院で一生を暮らすことになるのだろうかという重い気持ちになります。今回の研修会が一筋の光になればと思います。